

人間共生学部 共生デザイン学科 研究室（ゼミ） 紹介ガイド



人間共生学部 共生デザイン学科 研究室（ゼミ） 紹介ガイド

人間共生学部 共生デザイン学科は2016年4月にスタートした学科で、社会や他者との共生、自然や環境との共生を目指す新しい概念のデザイン学科です。現在11の研究室（ゼミ）があり、この冊子で紹介いたします。各ゼミにおける指導は、育成する人材像を目指しています。また学科の特徴である「プロジェクト科目」は、少人数で課題に取り組む点でゼミと性格が近く、概略を以下に紹介いたします。

共生デザイン学科で育成する人材像

- デザインに関する知識と技術を持っている
- 多様な生活文化・価値観を尊重し、自然と共生したライフスタイルの創造ができる
- 生活の中で課題を発見し、解決するための方策を構想して、まとめて表現できる

※これらの能力を共生デザイン学科では「共生デザインカ」と呼んでいます

学びの概念図

■デザイン構想領域

- デザイン文化
- デザイン企画
- 環境・コミュニティデザイン

共生デザインカ

■デザイン表現領域

- 映像表現
- グラフィックデザイン
- プロダクトデザイン
- インテリアデザイン

ユニークな授業：プロジェクト科目（3年次 春学期 集中科目）

- 学外や海外において、社会の実在する課題に半年間（3年次春学期）集中して取り組む実践的な科目です



●伝統絹緋再生プロジェクト訪問
（カンボジア）



●食文化デザインプロジェクト



●空家リノベーション・プロジェクト
（空家の有効利用）

共生デザイン学科で目指せる資格・免許と主な進路

①目指せる資格・免許

- 二級建築士
- インテリアプランナー
- 商業施設士補
- インテリアコーディネーター
- カラーコーディネイター
- 福祉住環境コーディネーター
- ビオトープ管理士
- 環境カウンセラー
- 司書 など

②主な進路

- インテリア設計・販売会社
- 建築・設計会社
- 住宅・不動産会社
- メーカー・サービス会社の企画部門・マーケティング部門
- 広告・デザイン会社
- 市場調査会社
- エコビジネス関連会社・組織
- 公務員・団体職員 など



モノやコトを可視化するデザイン。表現することで“気づき”をうながします。



教員紹介 淡野 哲(あわの・てつ)

【職歴】CM制作・広告業務(フリーランスデザイン)、商品開発・企画(デザインエント代表)、
法政大学兼任講師、現職 【職業】デザイナー、美術家、教育者
【学歴】東京芸術大学デザイン科卒業、 【好きな言葉】初志貫徹、くるくるぼん
同大学大学院修士課程、博士課程修了 博士(美術)
【専門】プロダクト・グラフィックデザイン、キネティック・アート
【担当科目】「基礎デザイン演習」「デザイン表現論」「視覚伝達デザイン演習」
「プロダクトデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」「ゼミナールⅠ～Ⅳ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」



淡野ゼミの紹介

グラフィック・プロダクトデザインを中心として、モノやコトを可視化(表現)する力を身につけ、“デザイナー”といった専門職のみならず、モノトを具体的に企画提案したり表現する職業に就ける力を養います。また、まだ将来ビジョンが確定していない学生さんには“考える”ことで悩むよりも体験から“気付く”ことで本当にやりたいことが見つかる課題学習を実践します。



卒業研究・制作について

作品制作を基本としますが「モノをつくる」といったことのみならず、例えば、身体表現や音楽(音声)料理・菓子製作等といったカタチとして残り続けないようなものも含め、あらゆる表現が可能です。但し、なぜそれを表現するのか、そのことをゼミナールにおいて探求した上で具現化させます。また、「論文」は執筆せず、「制作ノート」という形式で作品コンセプトや制作過程をまとめます。

・制作品例

- 【デザイン】 広告媒体(グラフィック、映像)、商品企画(雑貨、製品、商品企画)
- 【アートワーク】 立体造形(オブジェ)、平面表現(絵画表現、イラスト、雑誌編集)
- 映像表現(アニメーション、写真集)、その他多様な表現

教員紹介

海老根 秀之 (えびね・ひでゆき)



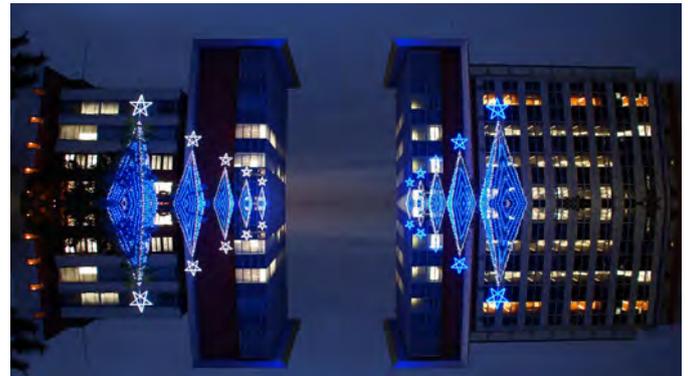
映像による表現もデザインの一つの領域です。制作方法を修得して映像でメッセージを伝えましょう！
私の担当するデザイン・プロジェクトでは、様々なイベントや、NPO法人の活動をPRするプロモーションビデオの制作を行っています。



●プロモーションビデオの制作
マスキングテープでハートを描く「ハートストリート」
イベントのプロモーションビデオを制作

海老根ゼミの紹介

ゼミでは、様々な映像表現手法を研究対象としています。また、その表現手法の再現も行っています。



●ミラー機能を使った映像表現のイメージ

想定される卒業研究テーマ例

① 新たな映像表現手法の開発



ありきたりな映像表現ではなく、これまでに見たことがないような新たな表現手法を研究します

② 3D映像の制作



世界遺産 熊野古道



重要無形文化財 奈良豆比古神社 翁舞

※平行法でご覧ください

大学には3D撮影可能なビデオカメラや、編集ソフト、3Dモニターなどが揃っています。それらの機器やソフトを利用し、オリジナル Stereoscopic 3D(立体視) 映像の制作も行うことができます。奥行きや飛び出しを使った映像表現を使った卒業研究も可能です。

教員紹介

兼子 朋也 (かねこ・ともや)



専門は、建築・都市環境デザイン。
気候風土に適応し、環境負荷の少ない、
豊かで真に健康で快適な暮らし・建築・
まちをデザインすることを目指していま
す。

近年は、空き家の再生・活用、アートと
まちづくりなど、コミュニティの持続的
発展に寄与するプロジェクトにも取り組
んでいます。

兼子ゼミの紹介



空き家のリノベーションプロジェクト

【キーワード】

エコデザイン サステイナブルデザイン
風土建築 環境共生建築 パッシブデザイン
都市気候 ヒートアイランド
温熱環境 快適性 住まい方
アートプロジェクト アートマネジメント
コミュニティデザイン 空き家再生 自転車・・・



コミュニティ活性化プロジェクト



温熱環境と健康・快適性



アート展示の企画・実践

卒業研究テーマ例



① 鎌倉の風の道に関する研究



調査に基づき、鎌倉のヒートアイランドを涼しい海風を活用して緩和する提案を行います

② 風土建築の調査研究



気候風土に対応した建築および生活を調査します (写真は島根県東出雲の柿小屋の事例)

③ アートプロジェクトの調査研究



アートイベントが地域に果たす役割を検討します

教員紹介

小林 和彦 (こばやし・かずひこ)

専門は映像制作です。3DCGの他、写真や映像の合成、加工を利用した表現についての研究を行っています。作曲も行っていて、映像作品のBGMも制作しています。最近ではゲーム開発ツールを使用した、音と映像を組み合わせた表現の可能性を探求しています。



花火の写真を合成した作品「朱ノ交」

小林ゼミの紹介

コンピュータグラフィックス、写真、アニメーションなど、コンピュータやデジタル機器を使用した作品制作を主に行っています。

最近では、モーショングラフィックスやVFX、デジタルイラストを制作する学生も増えてきました。



HDR合成を用いた写真の絵画調表現



VFX作品「Abyss of faith」



3DCGによる風景表現



被写体に躍動感を付加する写真撮影



デジタルアニメーション

卒業研究テーマ例

① ゲームデザイン



概要:仲間に指示を出して、ステージにある仕掛けを動作させながら、物語を進めていくゲームです。ゲーム制作ソフトを使用して、ステージの構成やシステムのプログラミングを行っています。

② デジタルイラストと3DCGの合成



概要:キャラクターのイラストに、3DCGで制作したギターを合成しています。イラストはシンプルな線で描き、3DCGはリアルにして、キャラクターとギターの見た目にギャップを出しつつも、全体では自然に見えるようにギターの大きさや位置、角度を調整しています。

教員紹介

佐々 牧雄 (ささ・まきお)



専門はデザイン・マネジメント、デザイン・プロデュース、サービスデザインです。人（デザイナー）・モノ（設備など）・金・情報（マーケティング情報など）をどのように配分したら、デザインを理想に導けるか研究しています。また、目に見えるデザインだけではなく、サービスデザイン（コトのデザイン）も研究しています。

関東学院に赴任前は、パソコンの原形を発明したことで知られる米国ゼロックスの研究所（パロアルト研究所）に勤務していました。研究所では、世の中を驚かせるような革新的な製品（モノ）やサービス（コト）を生み出すため日々研究をしていました。見かけによらず親近感を感じてもらえると思います。

佐々ゼミの紹介

ゼミでは、研究対象とするモノやサービスを決定し、そのモノ・サービスに対するデザイン・プロデュース（デザインを理想の方向に導くこと）を学びます。教員が民間企業時代に構築した人脈を活用して様々な企業や地域とのコラボレーションを行います。写真は、淡野ゼミとの共同で行った「久里浜商店街活性化プロジェクト」（黒船プロジェクト）の様子です。



制作したパンフレットのコンテスト



パンフレット制作のための店舗への取材

卒業研究テーマ例

① テーマパークにおけるおもてなしのデザイン



概要:テーマパークHの利用者は、休日と比べ平日が極端に少なくなる。このギャップを解消するため、来場者の観察調査を行う。平日も賑わうような「新しいおもてなし」のあり方を提案する。提案はコストをいくらでもかけても良いわけではなく、収支が成り立たないとならない。

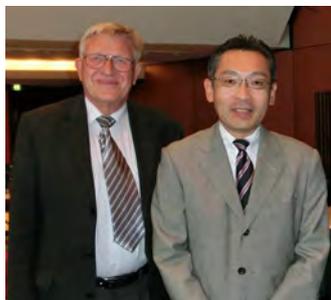
② オープンキャンパス・ツアーにQRコード導入提案



概要:オープンキャンパスの実施は、大学生のいない土曜や日曜日が多く、来場者は平日の活気溢れるキャンパスの雰囲気を感じられないことを観察調査から把握した。会場内に導入したQRコードに来場者がスマートフォンやタブレットPCをかざすことで、平日の大学のありのままの姿を動画を通して体験してもらう。

教員紹介

佐野 慶一郎 (さの・けいいちろう)



V. E. スパーバ先生と佐野
(ドイツ カッセル大学)

専門は、①環境政策、②エコ・デザイン、③リサイクル、④材料表面処理です。環境負荷の少ない材料から製品生産プロセス、ゴミのリサイクルまでの全体を研究し、各研究が一体となった環境政策に関連する企業と自治体に提案し、実用化をしています。理念は、人と環境のためになる教育と研究です。大学院(修士)修了後、①自動車会社で

硬質薄膜とリサイクル技術を開発し、博士号を取得。その後、②公務員(山梨県)に転職、葡萄エキス消臭剤の研究でノーベル賞を受賞した大村智先生に師事。③静岡県立大学助教授となり、茶カテキン消臭剤の研究に従事。その後、④本学教授となり、近年、竹粉入りのプラスチックやドクダミやナノオゾン水洗浄による材料消臭に没頭中。多くの特許を出願、実用化しております。

佐野ゼミの紹介

佐野ゼミでは、皇太子殿下からの「環境研究の実用化に期待する」とのお言葉をもとに、学生への教育と研究を行っています。様々な共同研究(産官学)を通じて、ゼミ生は学術研究の基礎と応用、および社会や海外との連携を学んでいます。主な共同研究先は下記のとおりです。

- <現在> 国立国際医療センター病院, ドイツTITK研究所, 米国サンフランシスコ州立大, トレド大, 京都工芸繊維大, いすゞ自動車, ユニオン産業, (株)グリーン, (株)エムアイシー, 産業技術総合研究所, 中国常州大(客員教授), 本学材料表面工学研究所員
- <過去> 成田空港, 日清オイリオ, キッコーマン, 三井農林, 日産自動車, 倉敷紡績, 独カッセル大日本特殊塗料, 三信化工, 山梨県環境研究所(現富士山研究所), 神奈川県産業技術研究所工学院大学, 静岡大学, 山梨大学等々

皇太子殿下への
リサイクル研究
のご説明



海外研修
スイス
マッターホルン



現在の主な共同研究

① 医療ゴミのリサイクル研究 (国立病院との研究)



ゼミ生による医療ゴミの調査

概要: 病院では、医療技術の進歩を第一に考え、これまで医療ゴミの削減に注目していませんでした。ゼミ生は、医師と看護師と一緒に病院内で①リサイクル可能な非感染ゴミを選び出して、回収した廃棄プラスチックを用いて、②本学でリサイクル実験を行い、③実証研究(リサイクル品の試作と性能評価)と商品化(学内でリサイクルコップを販売)を行っています。

② 車部品の消臭化研究 (ドイツTITK研究所との研究)



毎年、ドイツでの滞在研究を実施

概要: ドイツと日本は環境システムの先進国です。ドイツで開発されたバイオ材料は安価で高機能ですが、独特な臭いがあり困っています。ゼミでは、ドイツの研究所と共同で葡萄エキスの添加やナノオゾン水洗浄によるバイオ材料の消臭方法を研究しています。毎年、佐野は、ドイツの研究所で共同実験を行い、多くの学生も研修に参加しています。プロジェクト科目でも海外交流について深く学びます。

教員紹介

神野 由紀 (じんの・ゆき)



専門は、近代日本のデザイン史、文化史です。モノとそのデザインをめぐる様々な現象について、私たちは歴史的にどのように接してきたのか、というようなことを研究しています。私たちの日常生活は、多くのデザインに取り囲まれています。

有名デザイナーのモノだけでなく、ごくありふれた日用品も含め、デザインは私たちの時代背景を映し出す鏡といえます。カワイイもの、無意味なものなど、あらゆるデザイン表象が私の研究テーマです。



神野ゼミの紹介

ゼミでは、私たちの身近なデザインを考えるため、モノのデザインの外観にとどまらない、デザインを生んだ社会背景、人々の意識などを理解していきます。ゼミでは全学年合同で取り組む課題もあります。最近では、若い人に日本酒文化を知ってもらえるような飲食店のデザイン企画を行っています。また「食とデザイン」というテーマで、三浦半島の農園の野菜のマルシェを企画したりしています。



日本酒に合う酒器のデザインの提案
陶芸演習に取り組むゼミ生



関東学院大学創造祭での
三浦野菜のマルシェ

卒業研究テーマ例

① 文具における機能と反機能



親子ハサミ



三菱鉛筆 UNI
STAR

概要: 今日、優れた機能の文具が開発されている一方、ファンシー文具、ナンセンス文具も根強く支持されている。機能と反機能の役割は非常に曖昧である。日用品の中でも特に機能が明確な文具、中でもナンセンスは反-機能的文具に焦点をあて、デザインに求められる役割を再検討した。

② 紙の書籍をめぐる現状と考察



雑誌「ブルータス」
の本屋さん特集



こたつのある本屋

概要: 書籍のネット販売や電子書籍が広まる中、「町の本屋さん」は減少している。しかしその中で、大手とは異なる町の小さな書店が、独自のコンセプトをもつブックカフェをはじめ、新たな本屋の可能性で人々を惹き付けている。単に本を買うだけでなく、地域のコミュニティの場をつくり出そうとしている書店の現状を考察した。

教員紹介

立山 徳子 (たてやま・のりこ)



専門は社会学です。特に都市生活や家族生活について、パーソナル・ネットワーク（おつきあい関係）の視点から研究しています。最近の研究発表には「リタイア後の夫婦の夫婦関係とパーソナル・ネットワーク」や「都市度別にみた子育てネットワーク」をテーマにしたものがあります。社会学は常識を疑い、新たな常識をデザインする学問です。その常識は誰のためのものなのかを考えます。

趣味はテニス、チェロ、旅行。

最近、着物で生活することを目指しています。

立山ゼミの紹介

立山ゼミでは社会学の視点から、ヒト・モノ・コトのあり方にどのようなデザインが可能なのか考えてゆきます。今取り組んでいるテーマは、「若者の田舎暮らしというライフスタイル」です。



ゼミ合宿では、都会から移住し田舎の古民家カフェを経営する方にインタビューしました。

卒業研究テーマ例

① 現代の結婚事情

近代以前の家どうしの結婚と比べ、現代の結婚は男女個人を中心とした結婚に変容しています。

そのような中で結婚ビジネスの登場や結婚市場への階層格差、地域格差が誕生しつつあることを考察しました。



② 男らしさの変容



「弁当男子」や「スイーツ男子」、また「子育てをしない男性を父親と呼ばない」など、変わりつつある男性たちの生き方に焦点をあてました。インタビュー調査から従来の男らしさとは異なる生き方をする男性たちの内面を探りました。

教員紹介

二宮 咲子 (にのみや・さきこ)

専門は、環境学・自然共生社会論です。
人間社会と自然環境の地域特性をふまえて、心豊かなコミュニティをデザインすることをテーマに都市近郊農業の振興や、都市公園の新たな可能性を研究しています。



人間と自然の関係学

Ecology
地球がキャンパス

人間と人間の関係学

Sociology
地域がキャンパス

略歴

1970年代
東京都新宿区に生まれる
1980年代
千葉県で小中高校生活を送る
1990年代
東京都で大学生活を送る
企業の環境研究所に15年勤務
2000年代
東京大学で5年研究生生活を送る
2013年4月
関東学院大学に着任

二宮ゼミの紹介

私たちは身近な自然環境でのフィールドワークを中心に、3年生と4年生の20名ほどが一緒に活動しています。
2015年度からは、アメニス相模三川グループ（企業3社）と神奈川県立相模三川公園をフィールドに、都市の貴重な自然環境の生態的価値や社会文化的価値と保全について学んでいます。
企業や地域の方など多様な世代の人たちと関わる機会が多いため、実社会で必要なスキルが身につきます。



卒業研究テーマ例

① 鳩川におけるホタルを指標とした水環境再生



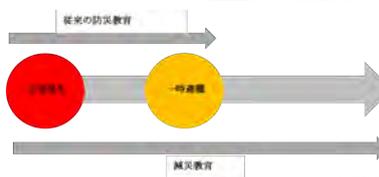
概要: 私たちの生活から切り離せない河川の水環境問題を改善していくために神奈川県立相模三川公園の鳩川をフィールドとして自然体験学習イベントを企画しています。例えば、子どもたちにも水環境の大切さを知ってもらうために、ホタルとカワニナのオリジナルキャラクターをデザインした紙芝居を制作しました。



② 災害を生き残るための減災教育キャンプ



概要: 行政による従来の災害対策は通用せず、新しい対策として、行政だけではなくそこに住む地域住民の一人一人が災害発生前も発生後も被害を減らせる行動をとることで総合的な被害を減らす減災を研究しています。例えば、「自分で考える」教育方式を採用した1泊2日の避難生活体験キャンプを実施しました。



教員紹介

日高 仁 (ひだか・じん)



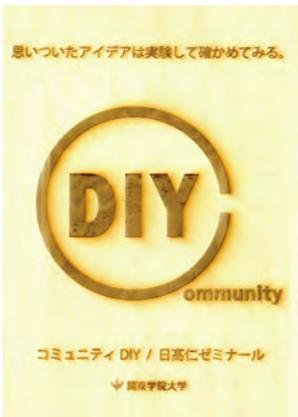
建築家として、インテリアからまちづくりまで幅広い空間デザインの実務を行っています。

ゼミでは空間デザインとともに、コミュニティのデザインについて研究します。空間デザインを行ううえで重要な、人のつながりや社会の仕組み、プロジェクトをいかに進めていくべきかなどのソフト面について、いくつかの地域と関わりながら実践的な研究を進めています。

研究テーマ

「コミュニティDIY」

地域コミュニティのための拠点づくり・イベント等/空き家再生/建築・インテリアデザイン/まちづくり/コミュニティビジネス等による地域再生



Attire House 店舗 (香港、セントラル)



Marinella Napoli 店舗 (東京、丸の内)



左 : Marinella Napoli 店舗 (東京、六本木ミッドタウン) 右 : 南町テラス (逗子市)



瀬戸内の海の駅舎 (愛媛県、弓削島)



空き家再生ゲストハウス (鹿児島、岸良)

教員紹介

山崎 稔恵 (やまざき・としえ)



専攻するのは服飾美学・西洋服飾史。服飾が人間のところに映るさまを捉え問題にする研究です。大学時代、美術史の講義で18世紀イギリスの画家ウィリアム・ホガースの作品に出会ったのをきっかけに当時の生活文化に関心を抱くようになりました。日常を生きる人びとの行状や風俗に対するホガースの観察眼は諷刺的で

遊戯的で、ひじょうにリアリスティックです。調べてゆくと、同時代のあるオペラの宣伝のためにホガースが関与し制作された扇が見つかりました。中央に仮面が描かれた奇妙なもので、それはホガースが扇に特別な関心を寄せていたこと、また女性にとって扇はたかが装身具とはいえない調法な「武器」であったことも伝えていきます。

山崎ゼミの紹介

学生は、卒業研究に向け各自、テーマをもちます。内容は生活文化を主軸に服飾と人間、アートと社会に関するものとしています。自身の興味や関心のありかを発掘・探求する手がかりとなるよう、折々に展覧会見学を実施します。ほかに社会との連携にも積極的に取り組み、地域で展開される大小のアートプロジェクトへの協力など、現場での学習と体験を重視しています。



シルク博物館見学
学芸員の説明を受ける学生たち



イベント《空き家に浴衣の華が咲く》の賑わい

卒業研究テーマ例

① むりえ作家・蔦谷喜一が描いた服飾と暮らしの情景



《ちようちよの扇子》(むりえの袋)
昭和20年代 石川松声堂出版
むりえ美術館所蔵

「きいちのむりえ」が子どもたちにとって憧れの世界であり、夢を抱かせてくれる遊びとして人気を博した理由や背景について、喜一がとくに力を注ぎ描いたとされる服飾や暮らしの情景描写を中心に繙きました。

② ロートレックが描いた女性たちと服飾
ーベル・エポックの影を見つめてー

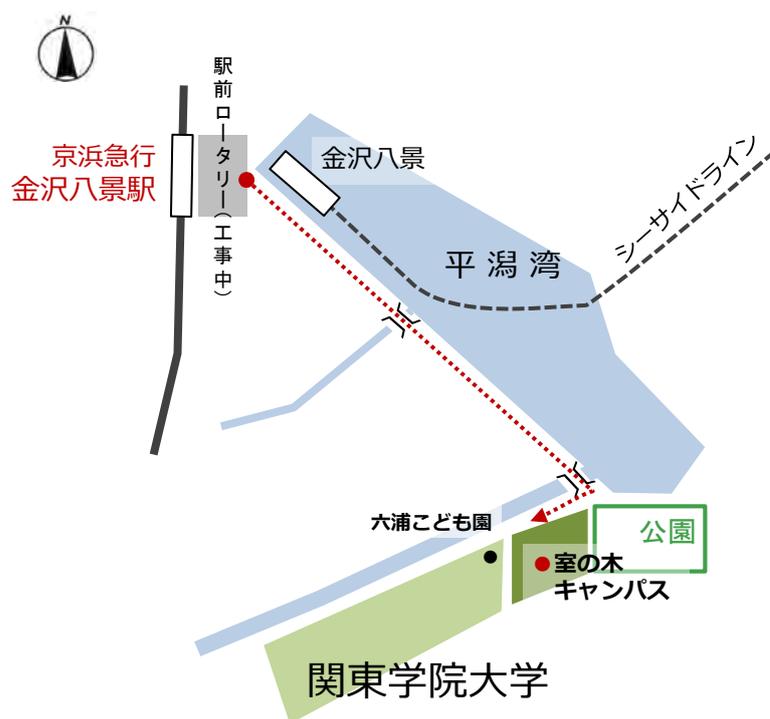


アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
《イヴェット・ギルペール》1894年
グワッシュ プーシキン美術館蔵

19世紀末から第一次世界大戦までの華やかで享楽に満ちた時代、ベル・エポック。しかしロートレックのポスターからは全く異なる印象を受けます。女性たちは華やかとは言い難く、気だるさや憂鬱さ、猥雑さが感じられます。黒い手袋をはめた歌手、黒いストッキングをつけた娼婦に焦点をあて、ベル・エポックの影の部分をあきらかにしました。



関東学院大学



お問い合わせ先：

人間共生学部 共生デザイン学科 演習室

〒236-8503 横浜市金沢区六浦東 1-50-1

関東学院大学（室の木キャンパス）

TEL：045-786-9829

京浜急行「金沢八景駅」より徒歩15分